



紫舟



神崎宣武

■第二部…ともいき談義

神崎宣武 (民俗学者)

紫舟 (書家)

伊藤唯眞 (浄土宗僧侶)

坂田藤十郎 (歌舞伎俳優) ※コメンテーター

高田公理 (佛教学大学教授) ※コーディネーター

# 法然共生フォーラム

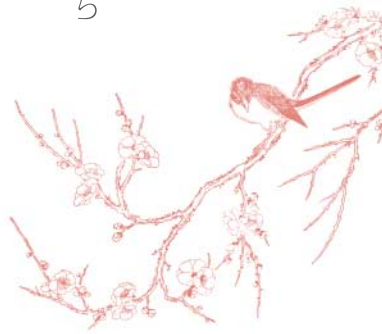
ともいき

いのちを慈しむ知恵

in 京都

書・紫舟

世界に満ちる 様々ないのち  
モノやコトにも宿るいのち  
あの世とこの世を結ぶいのち  
太古から未来へ継がれるいのち  
そんないのちと共にあること  
共にある私を確かめること  
それが「ともいき」です



■第一部…ともいきがたり(お話)

「受け継ぐいのち、生み出すいのち」  
坂田藤十郎 (歌舞伎俳優)

受け継ぐものとは何か。  
新たに生み出すものとは何か。  
伎芸(わざ)に生きる「ともいき」の  
ありさまについてお話いただきます。

今回のテーマ:

## わざに伝わるいのち

伝統の“わざ”に継承される“いのち”  
創造の瞬間に湧き出でる“いのち”  
はるか昔から未来へ滔々と流れる  
“いのちの水脈”について考えます

参加無料

※参加応募方法を裏面に記載しています

日時：平成21年5月29日(金) 18時30分より(18時開場/21時15分終了)

会場：祇園甲部歌舞練場 (京都市東山区)

主催：浄土宗 共催：京都新聞社 特別協力：法然上人をたたえる会  
協力：総本山知恩院(京都) 大本山増上寺(東京) 大本山金戒光明寺(京都) 大本山知恩寺(京都)  
大本山清浄華院(京都) 大本山善導寺(久留米) 大本山光明寺(鎌倉) 大本山善光寺大本願(長野)

とも いき  
法然共生フォーラム  
～いのちを慈しむ知恵～

ここは乾き、いのちは痩せ細り、社会は行方の見えない閉塞に覆われています。

いまこそ豊かな想像力を取戻し、あらゆるものに等しく息づく“いのち”を想い、慈しみたい。

世界に満ちる多様な“いのち”、過去から未来へ連なる巨きな“いのち”と共にある・・・それが“ともいき”です。

このフォーラムは、法然上人の教えに流れる“ともいき”精神について考える

対話と交流の場です。浄土宗が全国各地で開催します。



### 坂田藤十郎

(歌舞伎俳優)

さかた とうじゅうろう

1931年、二代目中村鴈治郎の長男として京都市に生まれる。'41年、二代目中村扇雀を襲名し初舞台。'53年、「曾根崎心中」お初役で大評判を取る。'90年、三代目中村鴈治郎を襲名。'05年、坂田藤十郎を襲名し、上方歌舞伎の大名跡を231年ぶりに復活させた。海外公演も意欲的に行い、歌舞伎を通じた文化交流につとめる。人間国宝。文化功労者。屋号は山城屋。



### 神崎宣武

(民俗学者)

かんざき のりたけ

1944年、岡山県生まれ。武蔵野美術大学在学中より宮本常一に師事。旅の文化研究所所長・東京農業大学客員教授。岡山県宇佐八幡神社宮司でもある。著書に『観光民俗学への旅』『物見遊山と日本人』『神さま仏さまご先祖さま』『三三九度一日本の文化的契約の民俗誌』『酒の日本文化』『しきたりの日本文化』『江戸に学ぶ「おとな」の粋』など。



### 紫舟

(書家)

ししゅう

愛媛県生まれ。6歳より書をはじめ、'01年に書家宣言。情報としての文字に意思を吹き込む新鮮な作風で知られる。主な作品に、NHK番組「美の壺」「沸騰都市」題字、朝日新聞連載「いい名」「一語一会」への書提供、アサヒビール「濃醇梅酒」ロゴ、白鶴酒造TVCM書提供、浜崎あゆみミュージックフィルム「月に沈む」題字など。



### 伊藤唯眞

(浄土宗僧侶)

いとう ゆいしん

1931年滋賀県生まれ。同志社大学大学院博士課程修了。専門は古代・中世仏教文化。佛教大学教授、学長を歴任。京都文教大学学長を経て、現在、佛教大学名誉教授。文学博士。'07年、浄土宗大本山清浄華院第81世法主に就任。著書に『伊藤唯眞著作集』『法然の世紀』『仏教における女性観』『日本人と民俗信仰』など。



### 高田公理

(佛教大学教授)

たかだ まさとし

1944年、京都市生まれ。京都大学理学部卒業後、シンクタンク主任研究員、武庫川女子大学教授などを経て'08年より現職。学術博士。専門は社会学・文明学・観光学。著書に『「っぽん」の知恵』『酒場の社会学』『自動車と人間の百年史』『“流行”の社会学』、編著に『嗜好品の文化人類学』など。

#### ■今回のテーマ「わざに伝わるいのち」について

歩く、食べる、話す、書く、作る、使う、歌う、踊る、演じる…これらを「伎」といい「技」とも呼ぶ。人は皆、これらを先人から、いや、獣や鳥、草木に至るまでの森羅万象から学ぶことで初めて生きていく術とする。そして「学ぶ」ことは「真似る」ことに他ならない。という意味で、人の生には、学んだ相手のいのちが吹き込まれている。ただ、出会いは人ごとに多様なのだ。そこに結果として、個性や独創が芽を吹く。

たとえば歌舞伎の「曾根崎心中」——そこには、阿国や近松はもとより、お初と徳兵衛に象徴される近世上方の庶民のいのちが脈々と伝えられている。それを演じる山城屋のわざの底には、初代坂田藤十郎のいのちが型となって流れてもいる。しかし同時に、演じる四代目の芸からは、今を生きるその人のいのちが、にじみだして輝く。

「わざ」をやりとりしながら生きる、そんな「いのち」の諸相に、あらためて思いを馳せてみたい。

高田公理(コーディネーター)

日 時：平成21年5月29日(金)  
18時30分～21時15分

会 場：祇園甲部歌舞練場

#### 次 第

18:30～ 開会挨拶

■第1部：ともいきがたり  
坂田藤十郎

19:20～ <休憩>

19:35～ 浄土宗の活動紹介

■第2部：ともいき談義  
神崎宣武・紫舟・伊藤唯眞  
坂田藤十郎・高田公理

#### 参加応募方法

参加は無料です。抽選で800名様に参加券を発送します。参加ご希望の方は、はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し下記までお送り下さい。はがき1枚で2名様まで申込可能(お名前2名分を記入)。FAXやEメールによる応募も可能です。申込みは**5月11日(月)消印有効**。発表は参加券発送にて替えさせて戴きます。

〒604-8161 京都市中京区饅頭屋町595-3 法然共生フォーラム事務局「京都」係

Eメールアドレス:tomoiki@convention.jp TEL:075-256-8672 FAX:075-256-8673

※参加ご応募に必要な個人情報、当フォーラム事務局以外の第三者に対して開示・提供することは一切ありません。